

春季生活闘争（春闘）が事実上スタート!!

経団連と連合の幹部が出席した「労使フォーラム」が1月25日に開かれ、2022年の春闘が事実上スタートしました。

連合(日本労働組合総連合会)は、給与水準を引き上げるベア(ベースアップ)と定期昇給を含め4%程度の賃上げを求めています。連合の芳野会長は、「賃金の底上げ・底支え・格差是正を掲げ、働く仲間が共闘した『みんなの春闘』を展開していく。」また、「コロナ以前からの(成果の)分配の歪みを正していく。」と主張しました。

経団連の十倉会長は「業種横並びや各社一律ではなく各社の実情を踏まえた交渉が重要だ」の認識を示しました。その上で「好業績を上げた企業が従業員に還元するのは企業の責務だ」と述べました。

物価上昇に伴い実質賃金低下か??

現在、ガソリンや食料品などの値上げラッシュが私たち消費者に大きく影響を与えてきています。消費者側の賃金が上がらないまま物価だけ上がれば、実質的に賃金は下がることになります。

今後も物価の上昇は続くと思われる、4月には物価+1.7%~2.0%の物価上昇の試算も出されています。

今春闘で賃金が上がらなければ生活が苦しくなる!!

貨物会社は、物流の動脈としてコロナ禍においても、荷物を全国に運ぶためにコロナ感染リスクを抱えながらも毎日働いている。エッセンシャルワーカーの労働力の価値は高まっていることはコロナによって明らかとなった!

私たちが懸命に働いてきたからこそ、会社は成り立っており、業績を確保している。今こそ全青年部員に還元すべきであり、賃上げによる生活保障を会社は行なうべきである。

2月5日の第34回定期中央委員会にて、『2022JR総連春闘』におけるJR貨物労組の方針が決定されます。全青年部員で、2022JR総連春闘を闘い抜き、ベアをかち取っていきましょう!!

